

なかつがわ

市の花 サラサドウダン

令和8年 中津川市議会 1月臨時会・3月定例会



目次

令和8年度予算の規模と市税&借金
(市債)の前年度比較……………②
令和8年度予算の目玉事業……………③
当初予算各部の主な取組と議会の所見……………④
議案……………⑦
予算決算委員会報告……………⑩
常任委員会報告……………⑫
特別委員会報告……………⑭
一般質問……………⑮
編集後記他……………⑳

トピックス

- 令和8年度当初予算
- 当初予算各部の主な取組と議会の所見
- 常任委員会 所管事務調査
- 常任委員会から市への政策提言
- 特別委員会報告(中間報告・政策提言)

令和8年度 中津川市 一般会計

主要な取組 **441.4億円**



ひとつづくり ~こどもたちの笑顔を守る~

3歳児から中学生まで
給食費ゼロ

こどもたち自身がつくる
こども条例
こどもの権利を守る！
健やかな育ちを社会全体で支えるまちづくり

路線バス通学する高校生の
通学費助成
保護者の負担を軽減 定期購入額の半額助成
保護者負担はこども1人あたり月1万円まで

◎地域クラブ活動支援

地域とともに支える新たなクラブ活動の展開

◎こども誰でも通園制度

預けたい時に預けられる柔軟な利用体制の確保

◎校内教育支援センター

教室に入りづらい児童生徒の居場所を確保

◎放課後児童クラブ

こどもの安全安心に市独自の指導員の巡回を開始

地域づくり ~地域の元気を守る~

築城500年

苗木城

イベント開催やさらなる魅力の向上



利便性向上

中津川駅前

駅前を楽しく便利に
噴水広場がイベントスペースに

◎落合本陣の保存整備

県内唯一、現存する本陣建築 土蔵等解体保存工事に着手

◎中心市街地での創業者支援

空き店舗の利活用 お試しチャレンジショップの開設

◎明治座前広場の整備

イベントや駐車場活用できる広場の設計に着手

◎リニア駅周辺や関連道路整備

リニア駅を核としたアクセス道路など交通結節整備

安心づくり ~市民の安全安心を守る~

中津川市民病院
産婦人科充実

安心して出産できる
産婦人科医の増員と施設の改修

地域密着型
特別養護老人ホーム
開設支援

市内初!! 事業者を公募

地域総合医療センターを中心
地域医療の強化

常勤医師の確保 体制強化
4つの直営診療所への弾力的な医師派遣

◎妊婦などへのワクチン接種

RSウイルス母子免疫ワクチン他、接種費用を助成

◎オンライン申請の拡充

斎場の予約 口座振替登録

◎便利な窓口

証明書自動発行端末の導入やコンビニ交付を開始



令和8年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較

全会計の合計：866億2,411万円3千円
一般会計：441億円4千万円

(単位：千円、%)

	令和8年度		令和7年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	44,140,000	51.0	45,530,000	52.3	▲1,160,000	▲2.6
特別会計	18,952,224	21.9	18,912,975	21.8	39,249	0.2
企業会計	23,531,889	27.1	22,431,880	25.9	1,100,009	4.9
合計	86,624,113	100.0	86,644,855	100.0	▲20,742	▲0.0

税収：市税

(単位：千円)

区分	令和8年度	令和7年度	比較
市税	10,976,292	10,618,627	357,665
うち市民税	4,707,661	4,449,187	258,474
うち個人市民税	3,952,461	3,783,962	168,499
うち法人市民税	755,200	665,225	89,975
うち固定資産税	4,935,520	4,833,639	101,881
うち都市計画税	555,930	545,161	10,769

借金(市債)

(単位：千円)

区分	令和8年度	令和7年度	比較
借金(市債)	2,117,700	3,12,9400	▲1,011,700 ▲32.3%

借金残高

(単位：千円、%)

会計区分	令和8年度末見込残高		令和7年度末見込残高		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減比
一般会計	31,512,658	60.9	33,199,626	61.8	▲1,686,968	▲5.1
特別会計	72,389	0.1	85,876	0.2	▲13,487	▲15.7
企業会計	20,194,789	39.0	20,402,182	38.0	▲207,393	▲1.0
計	51,779,836	100.0	53,687,684	100.0	▲1,907,848	▲3.6

主な債務負担行為

事項	期間	限度額(千円)
文書管理・電子決済システム導入委託業務	令和9年度	13,029
コミュニティバス運行事業	令和9年度	32,483
ごみ収集車両更新事業	令和9年度～10年度	17,500
ごみ処理施設長期包括運営管理委託業務(第3期)	令和9年度～14年度	6,264,564
汚泥処理センター運転管理委託業務	令和9年度～11年度	198,000
美乃坂駅自由通路橋上駅舎整備事業	令和9年度	71,855
落合宿本陣解体保管工事	令和9年度	92,774
落合宿本陣整備基本設計委託業務	令和9年度	12,595

※債務負担行為とは…複数年度にわたる事業等で、将来の財政支出(債務)を約束する行為

当初予算 各部の主な取組と議会の所見

※□・・・各部の主な取組 ■・・・議会の所見

【商工観光部】

□商業、工業、観光、ひと・まちテラスが連携し、「活気あるまち」の実現に向け、にぎわいがあり何度でも訪れたいまちづくりに取り組みます。にぎわいプラザ解体と跡地活用、駅前機能再構築、シン・宿場町構想により中心市街地の価値向上を図ります。西部テクノパーク整備や企業支援で雇用と若者定着を促進します。苗木城築城500年を契機に、観光振興と持続可能な観光地づくりを目指します。ひと・まちテラスでは、交流と学びの拠点としての役割をさらに高めつつ、中心市街地の回遊性の向上と、にぎわい創出に繋がります。

■にぎわいプラザの解体後を見据えた跡地活用の方向性整理や、中津川駅前における観光案内・待合機能の再構築は、中心市街地の将来像に直結する重要なテーマであり、丁寧かつ透明性の高い議論が求められる分野です。観光政策においては、中津川市観光局廃止後のマーケティングや情報発信、滞在コンテンツ造成などを、どのような体制・優先順位で進めていくのか、実行面の見通しが今後の大きな課題になると感じています。理念と現場、短期施策と中長期戦略の接続が重要であり、計画倒れとならないよう、進捗や成果の可視化を強く期待します。

【リニア都市政策部】

□将来にわたって持続可能なまちとなるよう、次期都市計画マスタープランを策定し、中津川駅前のにぎわい創出と利便性向上を図ります。高校生の通学費補助拡充を進めます。次世代交通研究では、馬籠での実証実験を継続します。リニア対策では事業者との連携による工事の安全確保と市民生活への影響低減を図ります。全国から訪れる人がワクワクするような魅力あるリニア岐阜県駅周辺エリアデザイン指針の策定を目指します。

■高校生への通学支援の充実など、どこに住んでいても安心して子育てできる施策を議会としても後押しします。次期都市計画マスタープランやリニア岐阜県駅周辺のエリアデザインの策定を通じた、にぎわいある空間の創出に期待します。また、自動運転の実証実験による公共交通の推進に期待します。さらに、工事の安全確保と市民生活への影響低減を最優先に、事業者との密着な連携をお願いします。市民はもちろん、全国から訪れる人々がワクワクできる魅力的な拠点整備が進むことを期待します。

【農林部】

□農業の担い手減少に対応するため、就農相談から研修、初期投資支援まで一体的に行い、集落営農組織の設立や法人化を支援します。先端技術導入による農地集積や中山間地域の多面的機能維持、有害鳥獣対策、防災・減災のための土地改良や森林管理を進めるとともに、森林整備や木材利用、木育を通じて将来の担い手育成を図ります。

■就農から定着までの支援や集落営農・法人化、林業の安全装備支援など現場に即した施策は評価できます。一方、担い手確保と並行し、地域としてどう維持するかの視点が重要であり、中山間地域の多面的機能や鳥獣対策、森林整備を将来像と結び付ける必要があります。「なかつがわ森の木遊館」を通じた木育の取り組みは、長期的視点に立った人材育成として意義深いものですが、その成果をどのように次の世代の就業や地域産業につなげていくのか、今後の展開を注視していきます。

【文化スポーツ部】

□生涯学習・文化の振興、読書活動・スポーツの推進を柱として、「いきいきとした人づくり」に重点を置いて、主体的・持続的に活動ができる体制や環境を整える事業を展開します。①図書館を拠点としたさまざまな読書活動の推進と全世代が図書館を楽しみ、「笑顔あふれる」まちにつなげます。②市民1スポーツによる健康づくりの推進と、安全・安心で快適なスポーツ施設の維持管理に努めます。③多様化する学びのニーズに対応できるよう、「学び、活かす」活動を促進、支援します。また豊かな芸術文化に触れ歴史文化、伝統芸能を身近に感じることで、地域への愛着・ふるさとに誇りを持つひとりづくりを推進します。令和8年度苗木城築城500年を迎えるため、記念イベントを開催します。

■ひと・まちテラスの中央図書館だけでなく、全地域の図書室での読書活動の推進・充実と読書や図書館とかがわる個人・団体との協働により、生涯を通して読書に親しむ仕組みや環境づくりに期待します。誰もが気軽にスポーツを楽しむ、それが健康づくりにつながるように、施設環境維持や事業の実施をお願いします。中津川市内各地に点在する歴史文化や伝統芸能を、若い世代に知ってもらうこと、後世に伝えることは大切です。貴重な地域文化財産・伝統芸能の保存への引き続き尽力をお願いします。文化スポーツ部は、「人づくり」の他、高齢化が進む中では「居場所づくり」という重要な役割を持っています。それに向けての取り組みに期待します。

当初予算 各部の主な取組と議会の所見

※□・・・各部の主な取組 ■・・・議会の所見

【総務部】

□令和8年度は、中津川市総合計画の最終年度となり、それぞれの施策目標の達成に向けた取組や「笑顔があふれ未来がワクワクするなかつがわ」の実現に向けて、こどもたちの笑顔を守る「ひとづくり」、地域の元気を守る「地域づくり」、市民の安全安心を守る「安心づくり」を推進するために必要な財源を確保するため、あれもこれもではなく、費用対効果を見極め取捨選択するとともに、事業スクラップやマスタープランの取組を強力に進めます。

■3期12年の総合計画を総括する年です。目標達成だけでなく、これまでの過程を振り返り、目標項目や目標値の有効性を確実に検証することが、次期総合計画がより良いものになると考えます。次につながる市民のための取組をお願いします。

【医療福祉部】

□妊婦等へのワクチン接種費用や遠方の産科医療機関で健診・出産する妊婦への交通費等助成します。引き続き、子育て支援・病児保育・18歳までの医療費助成等安心して子育てできる環境づくりを推進します。地域総合医療センターの常勤医師の確保で持続的な地域医療体制を目指します。高齢者福祉では、新たに地域密着型特別養護老人ホームの開設を支援します。次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画・障がい者福祉計画を策定します。

■18歳までの医療費助成や子育て支援の取り組み、新たな妊婦等へのワクチン接種や遠方で健診・出産する妊婦への交通費助成等で安心できる子育て支援を期待します。地域総合医療センターの常勤医師増加で持続的な医療体制を構築、また地域密着型特別養護老人ホームの新規開設で、待機者の減少を期待します。次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定で地域包括ケアを深化させ、介護サービスの基盤整備や医療・介護の連携強化を期待します。自立した生活や社会生活を送ることができるよう、次期障がい者福祉計画の策定を期待します。

【市長公室】

□「笑顔があふれ、未来がワクワクするなかつがわ」の実現に向け、職員一人ひとりがこれまでの常識にとらわれず「新たな発想」と「迅速な行動」をもって「市役所組織の強化」と「全庁的な政策形成組織への転換」を踏まえ、「魅力ある市役所組織づくり」に取り組みます。また「市民と市長との対話集会」を通じ、市民の皆さまの声を市政に反映する取組を実施します。

■市役所職員は優秀な能力をもっていると考えます。これまでは、組織の中では立場、役職など縦割社会でその能力を十分に発揮できない状況が見受けられました。今後は組織の壁を越え、役職にこだわらず全庁的に政策形成ができれば、中津川市は大きく発展するものと考えます。また、「市民と市長の対話集会」は継続し、市民の意見に耳を傾けることは大切なことと考えます。引き続き若い人から高齢者に至る幅広い市民の意見を聞きながら政策推進をお願いします。市長、副市長、部長など管理職のみなさんのリーダーシップを期待いたします。

【市民部】

□市民部は、広く市民に密接にした事務を所管する部として、窓口サービスの充実や、若者世代の市内への定着支援や、地域のまちづくり組織への支援など、持続可能な地域活動を支援します。安心づくりの面では、市役所の窓口をもっと便利に使用していただくため、「書かない」「行かない」「待たない」「迷わない」窓口の整備として、証明書自動交付端末の導入やコンビニ交付を開始し、オンライン手続きを拡充します。市民生活に不可欠なメモリアル施設については、候補地の地域における協議を経て最終決定を行います。

■令和7年度の事業として、窓口サービスが大きく変わり、市民の市役所に対する利便性が大きく前進したと思います。更に本年度は「書かない」「行かない」「待たない」「迷わない」等、更なる窓口サービスの向上とともに、市役所への来庁者が満足して頂ける市役所になることを期待します。また、多くの市民が望む新火葬場予定地を必ず最終決定し、新たな事業計画策定に向けて動き出すことを期待します。

1月臨時会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第1号	市長の専決処分事項の報告について	—	—	—
	報第2号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認 (全会一致)
補正予算	議第1号	令和7年度中津川市一般会計補正予算(第8号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

賛否が分かれた議案の議決結果はありません

3月定例会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第3号	市長の専決処分事項の報告について	—	—	—
陳情	陳情第8号	「旧ため池」上流での土壌汚染対策法による要対策土の埋立処分から無害化処理への変更を求める陳情について	産	—	—
条例	議第14号	中津川市監査委員条例等の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第15号	中津川市税以外の諸納付金の督促、延滞金徴収並びに滞納処分執行条例及び中津川市行政手続条例の一部改正について	総	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第16号	中津川市職員の給与に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第17号	中津川市職員旅費支給条例の制定について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第18号	中津川市乳児等通園支援事業の利用者負担額等を定める条例の制定について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第19号	中津川市医療職員修学資金貸付条例の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第20号	中津川市国民健康保険条例の一部改正について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第21号	中津川市火入れに関する条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第22号	中津川市駐車場附置義務条例の制定について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第23号	中津川市水道事業給水条例及び中津川市下水道条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第24号	中津川市消防団条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第25号	中津川市火災予防条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

当初予算 各部の主な取組と議会の所見

※□・・・各部の主な取組 ■・・・議会の所見

【教育委員会】

□子育て世代を応援するため3歳児から中学生までの給食の無償化を実施します。新たな取組として、こどもたち自身が作る「こども条例」の制定、休日部活動の地域移行では地域クラブへの活動支援を行います。また幼児教育では、こども誰でも通園制度の運用を開始します。施設整備では、特別教室への空調設備の整備を完了させ、学校ネットワークシステムでは、学校業務の利便性を向上させるDX基盤整備を行い、教育環境の充実につなげます。

■中学生までの給食の無償化は大歓迎、引き続き学校教育での負担軽減を期待します。「こども条例」制定では、本当に「こどもの権利」が保障される条例になること。学校統合は児童・保護者・地域が納得する統合。部活動の地域クラブ移行は保護者負担の軽減。引き続き不登校対策の充実・強化。こども誰でも通園制度は現場で混乱なく進むことを期待します。

【建設部】

□リニア開業を見据え、濃飛横断自動車道と一体的に機能する市内幹線道路の整備を進めます。多発する集中豪雨に対しては、排水対策・河川の改修・土砂撤去を実施するとともに、国・県と連携した砂防・急傾斜地対策を進めます。道路・橋梁は点検補修を行い、通学路には安全対策を実施します。さらに、市営住宅の長寿命化や木造住宅耐震化、ブロック塀除去支援などを進めます。国土調査事業は計画に基づき推進します。また、リニア関連事業については事業進捗が図れるよう協力します。

■道路整備や河川改修、防災対策、住宅施策など、市民生活を支える社会基盤の整備に幅広く取り組まれています。今後も防災・減災の視点を十分に取り入れ、市民が安全・安心に暮らせる持続可能な地域づくりが進められることを期待します。また、リニア開業や濃飛横断自動車道整備など大きく環境が変わる施策においても、地域全体の計画的な基盤整備が図られることを期待します。

【環境水道部】

□上下水道やごみ処理を担い、安全で安心な市民生活と水質保全、公衆衛生の向上のため各施設の安定稼働を図ります。脱炭素社会の実現に向け、2050年CO₂実質ゼロのロードマップに基づき再エネ設備補助を見直し、第四次環境基本計画を推進します。ごみ減量と焼却施設の安定稼働、広域処理施設の検討、水道管の耐震化更新、下水道施設の増設・更新に取り組めます。

■上下水道やごみ・汚泥処理は停止できない行政サービスであり、安定稼働を最優先とする姿勢は重要です。一方、外部委託や長期包括運営管理の拡大により、物価高騰を含む恒常的コスト増が見込まれるため、丁寧な説明と検証が不可欠です。加えて、脱炭素や環境基本計画は、市民の行動変容につなげる視点を持ち、制度設計と周知を一体で進めることが求められます。

【消防本部】

□災害の多様化や大規模化、住民ニーズの多様化など、消防を取り巻く環境の変化に的確に対応し、市民の安全安心な生活を守るため、消防用施設や設備の整備、救急業務の高度化、消防団との連携強化を目的として事業を推進してまいります。

■2月から、大規模災害への対策などを目的とした、東濃5市消防指令センターの共同運用が開始されました。県内で初めて、複数の消防本部が通信指令業務を共同で運用する取り組みであり、その成果が県内各地から注目されます。新たな体制で得られた課題や対応を消防本部とも共有し、非常時を想定した仕組みを構築することが、広域連携のメリットであると考えます。市民の安心安全につながる体制づくりをお願いします。

【病院局】

□地域の医療機関、介護施設等との連携を深め、医療スタッフが働きやすい環境を確保し、市民の皆様が安心して医療を提供できる体制を整え、「健康に暮らせる」まちづくりに貢献できるよう取り組みます。中津川市民病院については、さらに経営強化に取り組みます。また、引き続き医師や看護師等の医療スタッフの確保に努めるとともに、医療機器の整備、施設の改修を行い、東濃東部の中核病院として、急性期医療を中心に一層の充実を図ってまいります。坂下診療所については、やさか地域を中心とした医療圏の医療施設として、引き続き外来機能と在宅医療を担う地域医療に取り組んでいきます。

■中津川市民病院と同規模の全国の公立病院の9割超が赤字とのことですが、急性期医療の病院として、中津川市民病院を中心に、市民に対して安定した良質な医療提供体制を確保、継続してください。医師確保のためにも、最新の医療機器導入の検討をお願いします。また老朽化してきている市民病院の建替えという課題もありますが、持続可能なこの地域の医療体制存続のため、早期にこの課題に取り組むことを期待します。

- (4)し尿処理事業……………8,173千円
 - ・汚泥処理センター中央操作室監視装置等修繕
- (5)観光施設管理事業……………13,721千円
 - ・付知峡不動公園危険木伐採
 - ・夕森溪谷専用水道滅菌装置更新
 - ・夕森やまびこ広場遊歩道転落防止柵改修
 - ・道の駅きりら坂下厨房空調設備更新
 - ・付知峡倉屋温泉ヒートポンプ修繕
 - ・道の駅花街道付食堂空調設備改修
- (6)道路新設改良事業……………28,000千円
 - ・中津 88 号線道路改良 L=115m
 - ・長根橋～芝線道路改良 L=50m
 - ・中津223 号線道路改良 L=50m
- (7)庁舎消防車等維持管理事業……………3,330千円
 - ・北消防署車庫シャッター改修
 - ・北消防署1 階トイレ改修 ほか
- (8)消防施設建設事業……………4,193千円
 - ・消防本部日通信指令システム撤去
- (9)遠距離通学事業……………20,934千円
 - ・福岡小中学校スクールバス(高山方面)購入 中型バス1 台
- (10)小学校施設営繕事業……………29,370千円
 - ・西小学校防火戸改修
 - ・坂本小学校防火シャッター改修
 - ・付知北小学校防火シャッター改修
- (11)中津川公園管理運営事業……………3,849千円
 - ・中津川公園高圧受変電設備改修

⑤ 基金積立のための事業 計 6 億8,000千円

- (1)公共施設整備運営基金管理事業……………300,000千円
- (2)ふるさとづくり応援基金管理事業……………55,000千円
- (3)リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業……………325,000千円

⑥ 人件費の補正 計 1 億 5,240 万6千円

- 職員給与費
- ・退職手当の補正

⑦ 事業費等の精算 計 ▲3 億 7,024 万4千円

- (1)坂下診療所への繰出金を減額補正(坂下診療所繰出金事業)……………▲100,600千円
- (2)坂下老人保健施設への繰出金を減額補正(坂下老人保健施設繰出金事業)……………▲75,000千円
- (3)企業立地奨励に係る予算を減額補正(企業立地奨励事業)……………▲60,664千円
- (4)にぎわいプラザ調査設計に係る予算を減額補正(にぎわいプラザ運営事業)……………▲23,980千円
- (5)土地区画整理事業に係る予算を減額補正(リニア駅周辺土地区画整理事業)……………▲90,000千円
- 企業会計分【水道事業会計】
- (6)土地区画整理事業に係る予算を減額補正(資本的支出)……………▲20,000千円

■1月19日専決補正

●衆議院議員総選挙の執行に要する経費……………6,725万2千円

予算決算委員会報告

議案の詳細につきましては、市ホームページの3月補正【概要】をご覧ください。



令和 8 年 1 月補正予算の概要……………8億4,369万 8 千円(一般会計)

- ◎エネルギー・食料品価格等の物価高騰への対応
- (1)なかつがわくらし応援券を配布(なかつがわくらし応援券事業)……………799,375千円
- (2)畜産農家の粗飼料購入代を助成(畜産振興対策事業)……………44,323千円

令和 8 年 3 月補正予算の概要

- 補正を行う会計
- 一般会計……………11億7,639万 5 千円
- 国民健康保険事業会計(事業勘定)……………729万9千円
- 水道事業会計……………1億9,360千円
- 《主な事業》

① 国・県補助金等を活用した事業 計 7 億 1,683 万4千円

- (1)戸籍附票システム等を改修(戸籍住民基本台帳事業)……………4,378千円
- (2)法人保育所等に対する財政支援を増額(法人保育所事業)……………297,196千円
- (3)水道事業会計へ水道管路耐震化資金を繰出し(水道事業会計繰出金事業)……………88,100千円
- (4)安全な橋りょう維持のための補修設計(橋りょう新設改良事業)……………32,459千円
- (5)避難所における防災用備品等を整備(総合防災対策事業)……………80,372千円
- 特別会計分【国民健康保険事業会計(事業勘定)】
- (6)国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定)へ直営診療所運営費を繰出し(直営診療施設勘定等支出金)……………729千円
- 企業会計分【水道事業会計】
- (7)管路更新や配水管の耐震化を前倒し施工(資本的支出)……………213,600千円

② 寄附金を財源とした備品購入等 計 27 万6千円

- 教育基金へ積立(教育基金管理事業)……………195千円
他 2 件

③ 緊急対応が必要な事業 計 4,528 万3万円

- 予防接種健康被害給付金を支給(感染予防事業)……………44,471千円
他 1 件

④ 早期発注のための事業 計 1 億 4,616 万9 千円

- (1)高齢者福祉施設等運営事業……………32,150千円
 - ・清和寮食器洗浄機更新
 - ・福岡総合保健福祉センター浴槽ろ過機ろ材交換等修繕
 - ・坂下福祉センター屋根瓦等修繕
 - ・川上かたらいの里高圧受変電設備修繕
 - ・加子母ふれあいコミュニティセンター空調設備更新
- (2)児童発達支援事業……………1,023千円
 - ・発達支援センターつくしんぼ高圧受変電設備改修
- (3)放課後児童クラブ運営事業……………1,426千円
 - ・坂本学童(第一)エアコン更新
 - ・坂本ひかり学童クラブエアコン更新

常任委員会報告（政策提言）

常任委員会ごとに所管する範囲でテーマを決め、所管事務調査から課題を整理し、先進都市への行政視察や、テーマに沿った団体や参加者と「市民と議会の対話集会」を行いました。市民の声を聞き、課題や改善策の協議を重ね、令和8年3月27日に3常任委員会から市へ政策提言を行いました。



◆総務企画委員会

「当市の魅力を活かした移住定住に係る政策提言書」

1. リニアを活かした移住定住、知名度アップ、情報発信
 - ・リニアの開業に向け、リニア車両基地等に伴う雇用拡大対策や、リニアの魅力を活かした移住定住計画の立案
 - ・民間の豊富なアイデアを活用し、メディアと連携した当市の魅力を発信
2. 移住定住支援の充実、若者の人口流出対策
 - ・JRと連携した名古屋圏や、リニア開業後の東京圏等への通勤、通学支援の検討
 - ・若者が地元へ戻るための支援の検討 など
3. 移住体験施設の充実、二地域居住の促進
 - ・「中津川市中心市街地まちづくりにおける関係人口創出促進に係る連携協定」を契機とした関係人口創出・二地域居住の促進 など
4. 効率的な職員配置、組織の充実
 - ・移住定住の問題を市全体で考えるため、各部が連携し移住定住計画を策定するなど、総合的、計画的に行うための体制づくり など

◆文教民生委員会

「市民の健康づくりに係る政策提言書」

- 減塩について
 - ・毎月の「減塩の日」を活用し、毎月減塩をテーマとした活動を展開し、減塩食の意義を広めること。
- 歯周病予防について
 - ・成人歯科健診の節日健診を現状の10年間隔から、5年間隔にすること。
 - ・子育て中の市民が歯科健診を受診できる機会を増やすこと。
- 慢性腎臓病(CKD)予防について
 - ・18歳以上を対象に年1回、「尿中塩分検査」「尿中ナトリウム・カリウム比検査」を無料で実施すること。
- 共通項目
 - ・3つの重要事業を計画的に推進するための年間計画を作成し、毎年見直して結果につなげること。
 - ・市民への周知のために、健康づくりイベントの開催、六斎市等のイベントで展示等を行うこと。

◆産業建設委員会

「農業の後継者対策及び遊休農地の現状と課題に係る政策提言書」

1. 農業の後継者対策
 - ・地域営農組織の充実、集落営農法人の設立及び法人化の推進を図る。
 - ・市による助成拡大により農業諸資材の購入、修繕等の投資に対する支援及び大型機械による効率的営農ができる圃場への転換事業を積極的に進める。
 - ・地域ブランドの創設、地産地消の推進を行う。
 - ・スマート農業の推進によるコスト削減。
 - ・新規就農者の積極的な募集を行う。
2. 遊休農地の現状と課題
 - ・地域営農法人等の活用、農地の集積など営農拡大の支援を図る。
 - ・中山間地域等直接支払い交付金制度及び農地中間管理事業の推進を図る。
 - ・有害鳥獣対策の推進を図る。

常任委員会報告（所管事務調査）

◆総務企画委員会

2月2日

〇市有財産運用管理マスタープランの進捗状況と今後について調査しました。

現状・課題

土地については、公共の利用が見込まれない土地の売却や貸付け等を行う。施設については、最適な市有施設の配置を明らかにするとともに、持続可能な行財政基盤の構築へ向け施設の維持管理費の削減を実現します。

今後の対応

土地については包括委託を継続し、不動産取引業者と連携しながら未利用地の売却を進めます。

施設については、老朽化した施設の用途廃止や、教育施設の民間譲渡等の統廃合を進めます。

委員会のまとめ

適正な規模の施設配置とするため、利用状況や必要性等を分析し、施設の廃止や機能が重複する施設の集約、継続保全の考え方にに基づき、着実にマスタープランを推進してください。

◆文教民生委員会

1月26日

〇就学前の子ども支援について調査しました。

現状・課題

これまで、主に教育を目的とする幼稚園と、子どもの生活全般をサポートする保育園等に分かれていました。現在は、子供たちが健全に育つためには、教育と保育が一体となり未来を見据えた適切な支援を行うことが不可欠で、認定こども園がその一例です。また平成27年から始まった地域型保育事業や認可外保育施設があります。令和8年度からはこども誰でも通園制度が始まります。

課題は、①人口減少による少子化、②保育士等の人材不足、③施設の老朽化です。

今後の対応

①中津川市幼児教育・保育施設適正配置計画の推進 ②公立と私立の機能分担・役割分担 ③幼保一元化 ④少子化傾向が続くことを前提とした施策に取り組みます。

委員会のまとめ

子どもたちにとって、安全・安心な保育環境の整備と保育の質のさらなる向上を目指してください。

◆産業建設委員会

2月3日

〇下水道事業の現状と課題並びに下水道施設の今後のあり方について調査しました。

現状・課題

(現状)管734km、処理場18カ所、そのほかに合併処理浄化槽が設置されており、同じ時期に整備された施設等が多く、計画的に設備更新を行っていく必要があります。

(課題)技術者不足、更新需要拡大、人口減少による下水道使用料収入の減少、固定費用や設備の更新費用の確保が必要となります。

今後の対応

国や県では地域の実情に応じて、個別処理や統合などを推進し、官民連携による「ウオーター P P P」の導入が必要となりました。

委員会のまとめ

中・長期計画を基に効率的な下水道経営を目指し、民間との包括的な管理委託を進め、そのレベルを成熟していくことを期待します。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は13人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



問 市民アンケートにおける満足度調査で2番目に低いのが「利便性の高い公共交通の整備」です。①なぜ満足度が低いのでしょうか。②地域交通にはデマンドタクシー、乗り合いタクシー、コミュニティバス、ライドシェア、交通費助成などがあります。これらを活用して、地域にあった交通を次期総合計画事業実施計画に取り入れてはいかがでしょうか。

答 ①高齢者や運転免許証を返納された方などが増えており、そういった方が移動手段が十分でないと感じていることが主な原因ではないかと考えています。②現在もデマンド式コミュニティバスの運行や公共ライドシェアの活用など、地域の特性に合った交通施策を実施しています。次期総合計画においても継続して取り組まなければならない分野であり、実施計画に位置付けていきます。(市長公室長)

木下 律子

次期総合計画における地域公共交通について



問 令和8年度予算概要について、主要施策の3つの柱「ひとづくり」「地域づくり」「心安心づくり」は大切な内容ですが、力を入れて取り組み、進めたいのはどの分野か伺います。②今後の大型事業への取組について、市が所有している大型施設・事業を今後どのように更新し、管理をしていくか伺います。

答 ①3つの柱で、子どもたちの笑顔、地域の元氣、市民の安全安心を守っていきますが、令和8年度は、特に「ひとづくり」に力を入れた予算を編成しています。(総務部長) ②市有施設マスタープランでの位置付けの検討も含め、大型事業の施設更新などにあたっては、広域での整備など、多くの可能性を検討していきます。(市長公室長)

勝 彰

令和8年度予算概要と今後の大型事業の取組

特別委員会報告 (中間報告)

◆病院・医療等対策特別委員会「中間報告」

1月29日及び3月13日

病院医療等対策特別委員会では令和7年度において「中津川市民病院の今後の方向性について」をテーマに委員会を開催してきました。執行部からの施設の点検結果等の資料提供や説明内容から中津川市民病院は間もなく築40年が経過し建物本体・施設設備、医療機器整備状況などから今後改修を含めた維持管理に高額な費用がかかることが判明しました。今後も市民の安心安全な医療提供体制を維持確保するためには今後の人口減少や医師確保の課題を考慮し、国が進める新たな医療構想を踏まえた広域での医療提供体制を早急に検討する必要があるため「(仮称)東濃東部の医療を考える研究会」を設置するよう執行部に提言することを決定しました。

特別委員会報告 (政策提言)

◆病院・医療等対策特別委員会

3月27日

「地域医療構想を踏まえた東濃東部の医療に係る政策提言書」

従来の地域医療構想が主に急性期医療を中心としていたのに対し、2040年を見据えた「新たな地域医療構想」では、在宅医療の強化、医療と介護の連携、医療従事者の確保が重要なテーマとされています。

中津川市が位置する東濃東部地域においても、近い将来、市民の安全安心な医療提供体制を維持確保するため、国が進める新たな医療構想を踏まえた広域での医療提供体制を早急に検討する必要があると考えます。

記

1、地域医療構想における東濃東部の適正な医療提供体制について検討を進めるため、恵那市及び関係機関と共に「(仮称)東濃東部の医療を考える研究会」を設置すること。



▲総務企画委員会



▲文教民生委員会



▲産業建設委員会



▲病院医療等対策特別委員会

自治会の防犯カメラ設置に関するガイドラインについて



田口 文数

問

地域の安全確保として、自治会による防犯カメラの設置が増えています。管理や使用方法を整理する必要があると考えます。
①防犯カメラの設置に際し、自治会等の設置者が遵守すべき個人情報保護の要件について、市はどのように整理していますか。
②運用ルールを明確化している市町村が多くあります。中津川市としても、設置基準・撮影範囲の考え方・データ管理ルール・住民説明等ガイドラインを策定してはいかがでしょうか。

答

①設置者が遵守すべき個人情報保護上の要件としては、管理責任者等の設置・運用の明確化などが挙げられ、市補助金の申請時には運用規程の作成を要件としています。(総務部長)
②市補助金の申請時には、運用基準・地域団体の総意である旨の書類などの提出を要件としています。ガイドラインの作成は区長会連合会等と相談のうえ検討します。(市民部長)



吉村 浩平

中心市街地について

問

①観光案内所の移転の検討はどのように進んでいますか。
②にぎわい特産館の特産品PR・販売の機能は、市はどのように考えていますか。
③噴水広場を更地にして、どのような規模で、どのような機能を持たせますか。

答

①令和8年度までは現在のにぎわいプラザ一階で運営し、令和9年度からは中津川駅構内で運営できるように、J・R東海と協議しています。
②特産品PR・販売の機能は、当市に訪れた際と帰路につく際に立ち寄る場所として、また利便性にぎわいの維持の観点から、中津川駅前周辺にあることが望ましいと考えています。(商工観光部長)
③現在の噴水広場の敷地を面的に利用できるように整地し、イベント開催によりにぎわいを創出する機能を持たせたいと考えています。(リニア都市政策部長)

高齢者の移動支援について

松崎 誠

問

公共交通網が不十分で、高齢者は日常生活の移動を自動車に頼っていますが、不安を感じながら運転しています。また自動運転技術の実用化には、なお時間を要する状況です。
①高齢者が周囲に気兼ねなく、自分で移動する手段としてシニアカーがあります。利用する際の有効性や課題を伺います。
②普及には介護保険とは別の制度の創設が必要です。地形や住民の要望に合わせた調査研究が必要と考えますが所見を伺います。

答

①シニアカーは歩行が困難な方の自立移動の促進に有効であると同時に、外出することで、ひきこもりの防止にもつながると認識しています。課題としては、交通事故防止のため交通ルールを十分理解し守っていただくことが重要と考えられています。
②先ずは、シニアカーに限らず支援が必要な方には、生活支援サービスを行う団体による移動支援の利用状況などを注視し、有効性を確認していきたいと考えています。(医療福祉部長)



子どもの権利について

田中 愛子

問

盗撮や性暴力、貧困やヤングケアラー、不登校の課題など、子ども達の守られるべき権利が侵害されたとの報道が相次いでいます。
①子どもたちが自身がつくる「子ども条例」の目的、狙いについて伺います。
②子どもの権利を尊重し確保する立場を明らかにするために、名称に「権利」を入れて頂きたいと考えますが所見を伺います。

答

①子どもたちが自身の権利や義務について、しっかりと学ぶこと、より良い未来を切り開いていく主体としての人を育てることで、
②この条例は、令和8年度から2年間をかけて策定する計画です。名称についても、策定の過程において子どもたちと共に検討します。(教育委員会事務局長)



広域ごみ処理施設について

牛田 敬一

問

①広域ごみ処理施設とは、ごみ処理施設・リサイクル施設・最終処分場を意味し、約2万㎡の面積が必要と認識してよろしいでしょうか。
②中津川市は、一部し尿汚泥等を焼却し、それ以外は県外の業者に委託していると認識しています。本来、自区内で処理するのが基本と考えますが新施設では全量焼却処理を行う方針なのか伺います。

答

①中津川・恵那両市のごみの排出、処理量を勘案し、それぞれの施設の必要面積を算出しますと、ごみ処理施設については1万2千㎡、リサイクル施設は8千㎡、最終処分場は最大5万㎡となります。2万㎡を確保できれば、ごみ処理施設とリサイクル施設を併設することが可能な面積となります。
②し尿汚泥の処理については、現在決まってはおりません。(環境水道部長)



リニア開業を見据えた就労者の受け入れ整備について

糸魚川 伸一

問

リニア中央新幹線の開業を契機として、中部総合車両基地の関係はもとより、本市に進出する企業や既存企業の拡大に伴い、市外・県外から多くの就労者が流入することが期待されます。新しい市民を温かく迎え入れ、街の活力を高めるためには、多様なライフスタイルに応える住環境をはじめとした選ばれるための受け皿づくりが極めて重要であると考えます。今後どのような展望を描き取り組んでいくか、現段階での認識を伺います。

答

市では、リニアを踏まえた将来都市構造として「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」を掲げています。
このまちづくりの考え方に沿って、広域交通拠点で進めているリニア駅周辺土地画整理事業地内や、都市拠点の居住誘導区域内を中心に、市全域で多様なライフスタイルに応える住環境を整え、ひとりでも多くの就労者に選ばれるまちとなるよう進めていきます。(リニア都市政策部長)



家庭で排出するごみを減らすことについて

鷹見 信義

問

①燃えるごみの量はどのくらいあるか伺います。

②燃やすしか処分方法がないごみを入れるごみ袋だと一人ひとりの市民に意識してもらうことができると思っています。分別意識を高める取組として、今使用しているごみ袋の呼称の変更は考えられないか伺います。

③食品ロスの取り扱いはどうしているか伺います。

答

①令和6年度実績で、家庭系ごみにおける燃えるごみの排出量は1万3千488t、事業系ごみにおける燃えるごみの排出量は4千824tで合計1万8千312tです。

②ごみの分別意識を高め、ごみの減量に向けた取組としては有効であると思います。しかし、その前段としてごみの分別ルールを新たに決める必要もあります。

③毎年10月の「食品ロス撲滅月間」にあわせ、広報なかつがわにて食品ロスに関する記事を掲載し、市民に向けて啓発を行っています。(環境水道部長)



人口減少と市役所の機能について

黒田とこ

問

中津川市の人口は、20年前より約1万人減少し、今後20年でさらに約1万人の減少が予測されています。人口減少で職員確保も困難になる中、市役所の機能や窓口業務等の市民サービスをいかに維持するかが大きな課題です。その解決のためにDX推進が必要ですが、合理化・効率化だけでは市民サービスその他の対応が切り捨てられると感じる市民もいます。中津川市がDX推進に取り組む目的を教えてください。

答

将来の労働人口の減少により市役所の労働力低下が想定される中、デジタル技術の活用によって業務の効率化を図ることで、市民サービスを低下させることなく持続可能な市政運営を進めること、そして市民の皆様の利便性を向上させることです。単なるデジタル化を目的とするのではなく、住民を中心に考えることを第一とし、多様な生活スタイルに寄り添える地域社会の実現を目指しています。(総務部長)



森林整備計画について

吉村 孝志

問

国産材の価格が低迷し、負の財産と言われ手入れをする人も減った結果、山は荒れる傾向にあります。森林整備をすることが清流を守り海を育て、災害を防ぐなど大きな役割を果たしていると思います。式年遷宮の御神木を送り出すことのできる素晴らしい山もあるこの地域を、守らなくてはならないと考えます。永続的に山を守って行くための新たな支援を教えてください。

答

当市ではこれまで様々な支援を行ってきましたが、低賃金・重労働・危険などの理由により、林業技術者は少しずつ減少しています。このため、林業技術者が安全かつ正確な知識を身につけるための資格取得支援を強化することに加え、すでに林業に従事されている技術者が安全に働き続けられるよう、東濃初となる安全装備品購入の支援を令和8年度に予算計上しています。(農林部長)



防災庁誘致について

長谷川 透

問

国が防災立国の実現を目指して防災庁の設置を発表し、岐阜県知事がいち早く東濃地方に防災庁を設置したいとの考えを表明されました。中津川市としてどの様に受け止められていますか。

答

①国の機関の誘致が実現すれば、その波及効果が期待されることから、中津川市として前向きに受け止めています。

②防災庁の誘致は、人口の増加・雇用の拡大・若者が望む就業先の確保・地域経済の貢献などさまざまな可能性が期待できるものと考えています。現段階では規模や誘致の条件などが示されていない状況であり、今後の状況を注視しつつ岐阜県と足並みをそろえていきます。(市長公室長)



中津川市地域公共交通計画の実効性と見通しについて

小池 菜摘

問

本計画は地域公共交通活性化再生法に基づき策定されています。

①努力義務・実施責任の所在をどのように整理していますか。

②将来的な財政負担についてどのように考えていますか。

③次期総合計画の中での位置付けや政策面での優先順位について伺います。

答

①この法律では、市町村に対し、地域公共交通の活性化及び再生に取り組むこと、地域公共交通計画を策定することを努力義務として規定しており、市が交通政策に責任を持つて取り組む必要があると考えます。(リニア都市政策部)

②市の財源は限られているため、利用者負担や利用促進施策も併せて考えていく必要があると考えます。(総務部長)

③公共交通は、次期総合計画においても継続して、しっかりと取り組まなければならない分野であり、実施計画に位置付けてまいります。(市長公室)



議場システムが新しくなり、より見やすい議会になりました

市議会では、現行の議場システムが老朽化し、不具合が発生したため、議場システムを更新しました。12月定例会から運用を開始しており、これまでより高音質、高画質でより見やすい議会になったため、この機会にぜひ議会の様子をご覧ください。議会は、議場での傍聴、インターネット配信(ライブ中継・録画映像)によりご覧いただけます。

詳しくは二次元コードから

傍聴について

配信について



問 議会事務局 (☎内線 504)



一色保育園・高山保育園・下野保育園・福岡保育園 閉園式



中津川市へ行政視察に来られました 令和7年度の受け入れ状況

来市月日	来市団体
令和7年 7月23日	和歌山県紀美野町議会
8月18日	京都府宇治市 会派「うじ未来」
10月 9日	宮城県石巻市 会派「石巻颯の会」
10月16日	山形県上山市 総務文教常任委員会
10月23日	青森県八戸市 会派「きずなクラブ」
10月30日	大分県中津市 産業建設消防委員会

来市月日	来市団体
11月 6日	山梨県中央市 常任委員会合同
11月12日	千葉県銚子市 総務企画委員会
令和8年 1月14日	埼玉県入間市 会派自由民主党入間市議団
1月19日	愛知県稲沢市 文教厚生委員会
1月30日	長野県富士見町 小学校保育園あり方検討特別委員会
2月 4日	山梨県南アルプス市 会派「公明党」

議会開催状況

12月23日～3月27日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(3回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(6回)
議会運営委員会	(6回)
病院・医療等対策特別委員会	(2回)
議員連絡協議会	(2回)

令和8年6月定例会の日程

6月 5日 (金)	本会議 (初日)
6月16日 (火)	一般質問
6月17日 (水)	一般質問
6月19日 (金)	総務企画委員会
6月22日 (月)	文教民生委員会
6月23日 (火)	産業建設委員会
6月24日 (水)	予算決算委員会
6月30日 (火)	本会議 (最終日)

編集後記 3月議会では令和8年度の予算が審議され、主要事業の予算が決まりました。平成27年から進められてきた総合計画の最終年であると共に、次期総合計画の詳細を策定する重要な1年です。

「ひとづくり」「地域づくり」「安心づくり」の3つの柱をさらに太くするための新たな事業として、中学生までの給食無償化、中津川駅前の利便性向上、地域密着型特別養護老人ホームの開設支援などが盛り込まれましたが、一方で取捨選択により終了した事業もあります。その判断の妥当性を検証することも議会としての責務であり、予算の執行だけでなく、結果までをしっかりと注視していきます。